

視 察 報 告 書

報告者氏名 矢 口 輝 美
鈴木 ゆうすけ

1 会派名

流政会

2 参加者

矢口 輝美・鈴木 ゆうすけ（計2名）

3 期 間

令和5年8月18日（金）

10：30～13：00

4 視察地及び調査事項

埼玉県児玉郡上里町 上里町役場

「上里町情報化推進基本計画」について

5 所感等

（1）主な説明者

●上里町 総合政策課 情報システム戦略係 係長 岩崎賢二 氏

●上里町 総合政策課 情報システム戦略係 主査 野崎洋平 氏

（2）上里町の概要

●面積**29.18** k m² ■人口 **29,949** 人（令和 5 年 8 月 19 日現在）

（3）目的

●令和7年度から12年度の流山市の情報化推進計画の策定の前に、先進事例として令和2年9月に策定された上里町情報化推進基本計画の中で進められた情報化推進責任者（ICTリーダー）の設置について、その効果を学ぶこと、また現在までの進捗や成果を振り返り、メリットやデメリットに関して幅広く知見をご共有いただく事を目的とした。

(4) 所感

◇大切にすべきは「人」と「人」との接し方

全国の各自治体で精力的に行われているDX、冒頭で情報システム戦略係として大切にしている「心がけ」について説明があった。DXによる自動化は、確かに便利で効率化を進める事が出来る。しかしシステムを導入しても、実際にそれを運用する人たちの理解を得られなければ進まない。その為扱うものは無機質なものであるが、「人」と「人」との接し方をより一層大事にするべきであると、これから進めるDXで一番重要であると理解した。

◇情報化推進責任者（ICTリーダー）について

上里町の事例は、総務省の自治体DX推進参考事例集【体制整備】の中で、若手や現場の職員の声をDX推進に取り入れる体制の整備として取り上げられており、今回視察先になる決め手となった「情報化推進責任者（ICTリーダー）」の設置とその効果について伺った。流山の現在の課題である、情報政策課と各課との連携を円滑にするために各課にICTリーダーを置く目的で設置したのかと推測していた。しかし実際は新型コロナウイルスの感染予防のため、DXを半ば強制的に進める事となり、新しいツールの使用法についての説明会を行う際、大人数で集まるような説明会の開催が出来なかったため、説明会への参加者を各課で選出した。各課に持ち帰り伝達する事を目的に集められたメンバーがICTリーダーであり、コロナで行動の制限・制約に適応するための形で生まれたという事がわかった。既存の決まりやルールに囚われず柔軟に変化できる素養があったからという事に驚いたが、お出迎え頂いた山下博一上里町長が情報や工学分野に明るい方であった事、そして今回研修の講師をして下さった野崎氏が情報分野で非常に優れた知識と理解をお持ちであったという事が関係していると感じた。

ICTリーダーは、情報化推進計画の策定に合わせて設置要綱を定め、その主旨に基づき職位年齢を問わず、各課の業務についてある程度の知識と理解がある方の選出を依頼、実際の難しいシステムの導入やサポート等は情報システム戦略係が手厚いサポートをした。また研修を受けたい職員は自主的にJ-LISでの無料講座を受講することでお金がかからない方法を取った。何よりICTリーダーに求める事は、情報システム戦略係とその他の課の橋渡しの役割を担ってもらう事だという。

これは今後、流山その他全ての自治体が進めるDXの骨子である可能性が高い。なぜなら、DXを進める部署とシステムを導入する部署が連携できることが重要であり、「部や課の仕事を理解できていない者が他部署のDXを進める事」「ITやシステムに関して詳しい人がいないからDXについて検討もされず全く進まない部

署」という事が現時点での問題であり、その溝を埋めるための橋渡しを、お金をかけずに構築できる可能性がある。

ここで大事なのは横断的に庁内の全ての部署に対して強い権限を持つ人間をトップに据える必要があるのだが、その解決策としてDX推進を計画する組織のトップに市長が就く事で解決出来る。実際は上里町同様、流山市ICT推進本部の組織でも本部長は市長となっているので、流山でもICTリーダーの設置の計画は非現実的ではないと考えられる。

この計画でもう一つ重要な事は、「人との接し方」である。「専門用語は使わずなるべく平易な言葉で接する」「情報ではなく情熱を伝える」無機質なものを扱うからこそ相手が冷たく感じないように注意をしながら接する事を大事にしていた。情報化推進とは単なるシステム導入による自動化や効率化ではなく、これをうまく運用する組織づくり、人づくりが形作るものだと学ぶことができた。

今回の視察は時間が短く、事前に通達させて頂いた質問も時間が足らず終了時間を超過してしまったが、頂いた5冊の資料を読み込む事で、上里町の計画が緻密に具体的な計画を分かりやすく、且つ期限や期間を設定し管理されている事がわかる。持ち帰った資料を引き続き良く読み共有し、令和7年度に改定される流山市情報化推進計画が少しでも良い形で進められ、より良い流山、庁内の仕事効率化によるウェルビーイングに貢献できる様今回学んだことを今後の活動に活かしていきたい。